

6. 公共交通活性化の目標及び施策の検討

6.1 基本的な考え方

公共交通を活性化していく上で、総合計画や都市計画マスタープランなどの上位計画との整合を図りながら、単なる公共交通施策であるという認識ではなく、公共交通の持つ機能を活かし、福祉・環境・まちづくりなど多くの側面につながる施策を検討する必要があります。

そこで、三条市が目指すまちづくり像と公共交通が担うべき役割から、公共交通活性化に向けた目標を掲げ、その達成に向けて必要な施策を検討します。

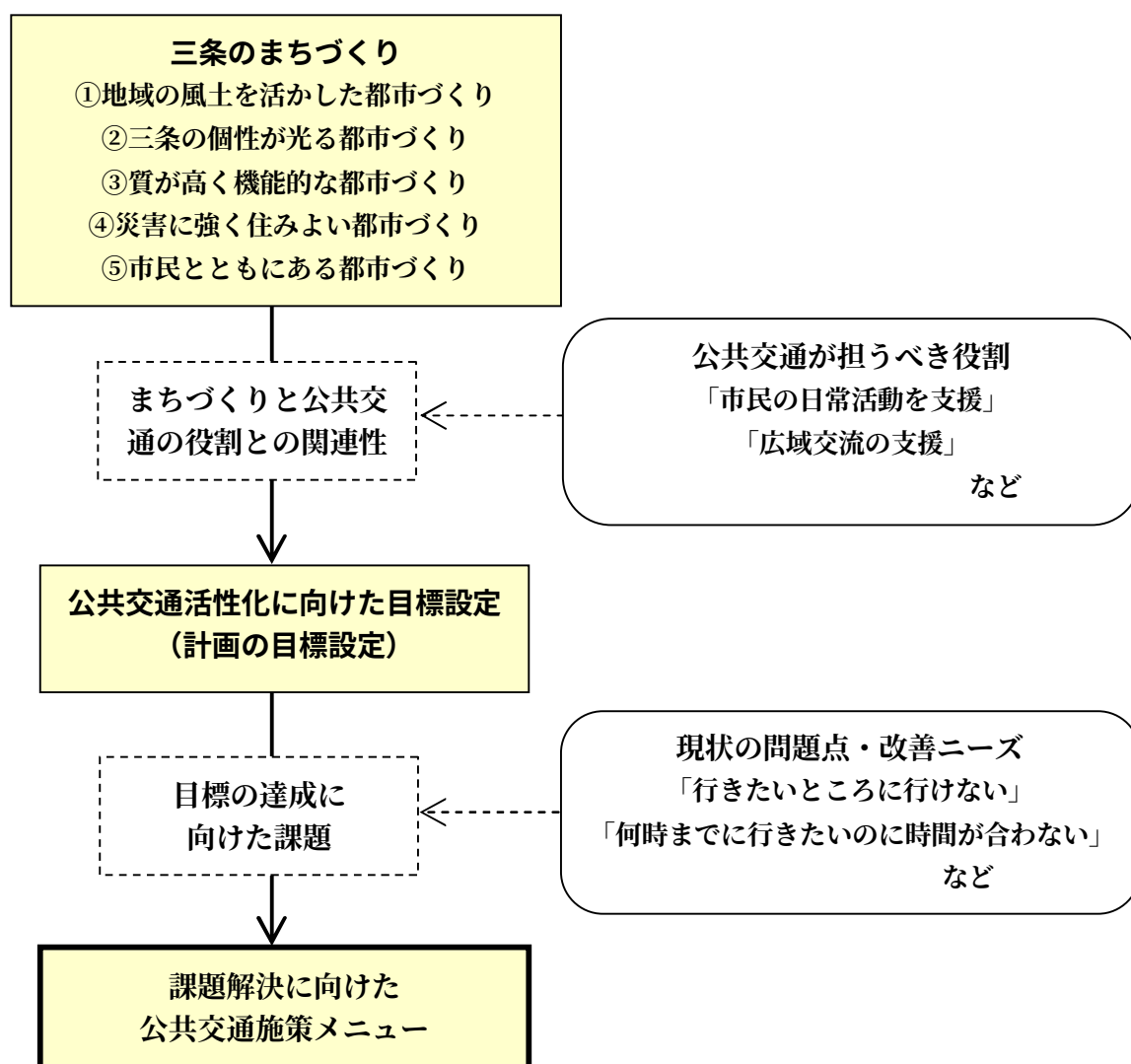


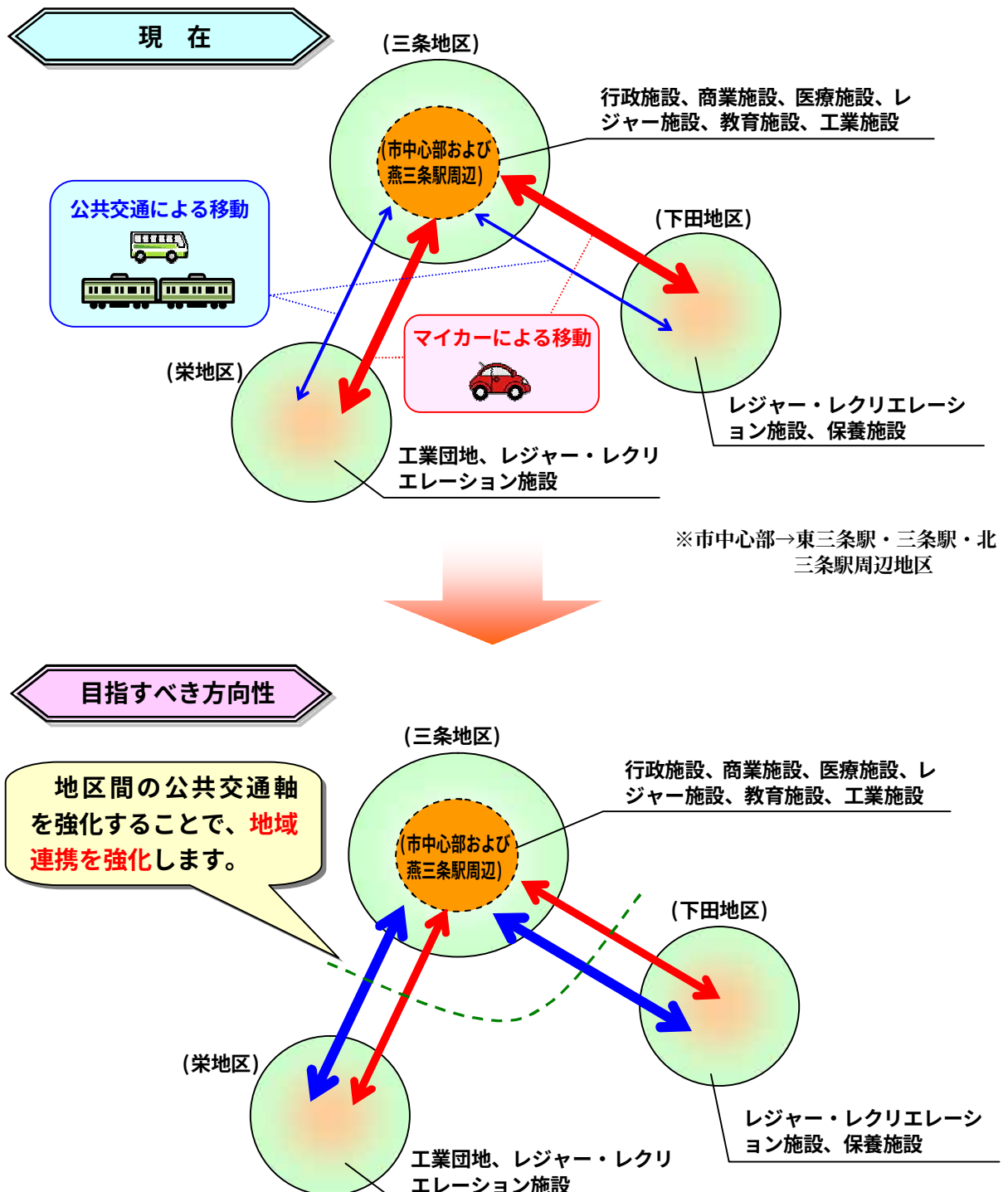
図. 施策メニュー検討の考え方

6.2 公共交通活性化の目標設定（計画の目標）

6.2.1 まちづくりに向けた公共交通のあり方

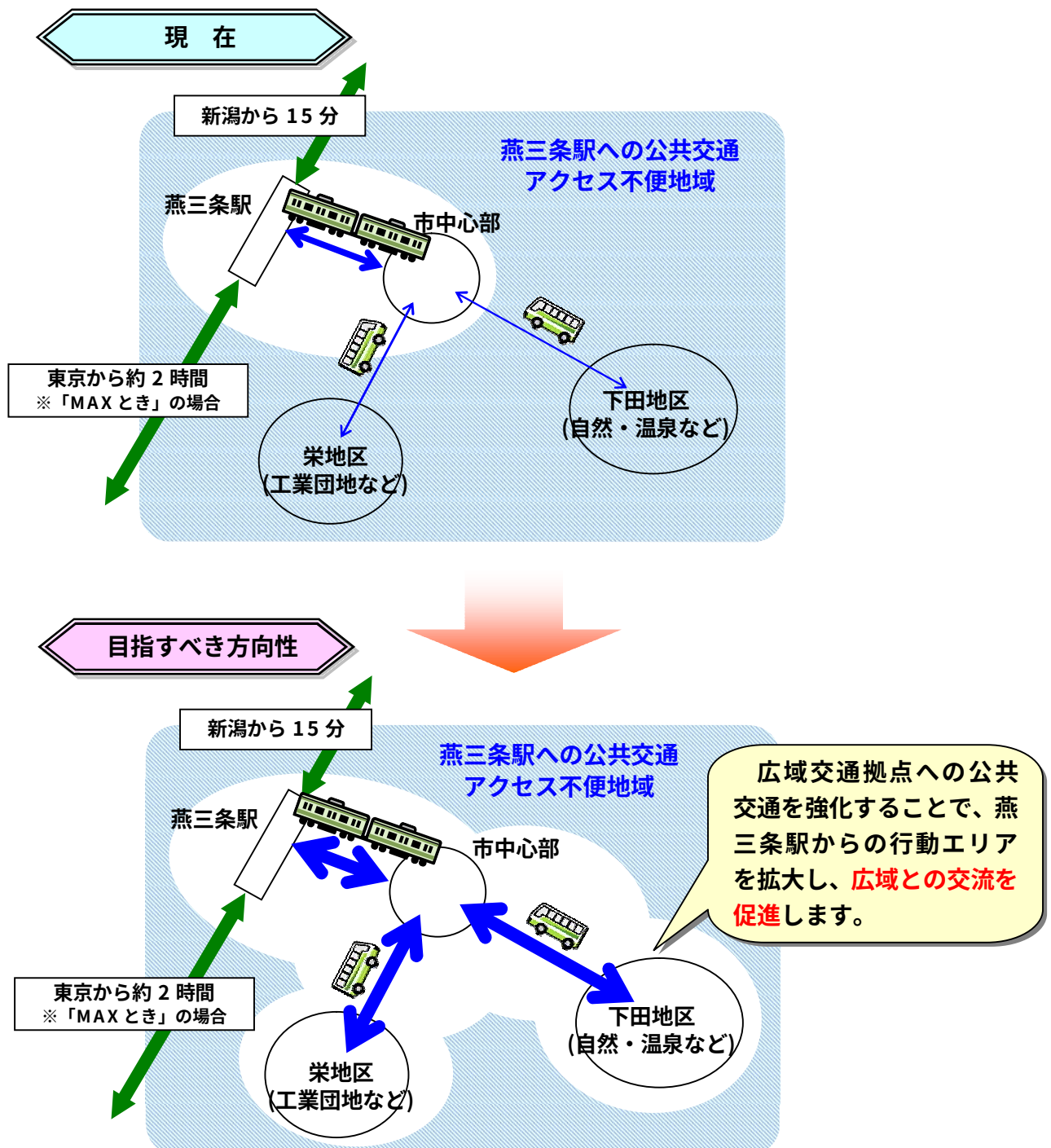
○まちづくりビジョン「地域の風土を活かした都市づくり」に向けた公共交通のあり方

- ・各地域が育んできた個性や特色を活かしながら、市域全体として良好な社会経済活動を推進するためには地域間の連携を支える交通網を充実させることが重要です。
- ・また、多様な市民の移動ニーズに応え、環境に配慮したまちづくりを進めるためには、自動車への過度な依存を見直し、公共交通の利用を促進するための取り組みが重要です。



○まちづくりビジョン「三条の個性が光る都市づくり」に向けた公共交通のあり方

- ・ビジネスや観光に関わる広域との交流を促進するために、交通網の果たす役割は大きいと考えます。
- ・特に三条市では上越新幹線や高速バスなどの高速交通体系の整備が進んでいることから、観光・ビジネスを支援する上で、高速交通体系と市内主要地とを利便性の高い公共交通で結ぶことが重要です。



○まちづくりビジョン「質が高く機能的な都市づくり」に向けた公共交通のあり方

- ・コンパクトなまちづくりを実現化するため、市中心部において街の魅力や賑わいの向上を図ることによって、周辺での居住が促進することが期待されます。
- ・駐車場の確保が難しい市中心部にとって多くの人が集い、賑わいを高めるためには、街の魅力のみならず、アクセス手段である公共交通の魅力を高めることが重要です。



○まちづくりビジョン「災害に強く住みよい都市づくり」に向けた公共交通のあり方

- ・高齢化社会を迎え、誰もが日常における暮らしやすい生活を維持していくためには、車を利用しない人々も生活に必要なサービスを受けられるよう移動しやすい交通環境を整える必要があります。
- ・このため、高齢者や学生を中心に医療、教育などの活動において有効な移動手段となる公共交通の利便性を高めることが重要です。

現 在

公共交通不便地域

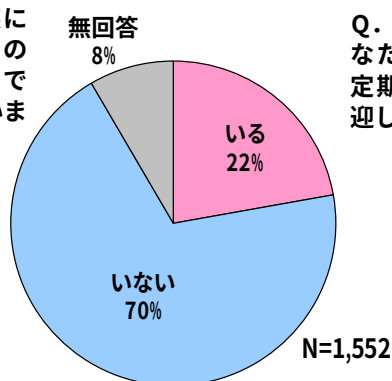
学生や高齢者など



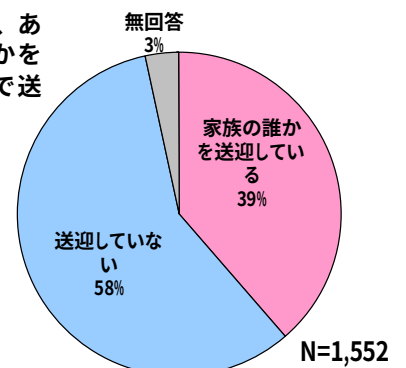
- ・行きたいところに行けない
- ・移動は家族の送迎に頼るしかない

学校
病院
商業施設
など

Q. あなたのご家族に「バスを利用したいのに便が悪いため利用できない」という方はいますか？



Q. 日常活動の中で、あなたはご家族の誰かを定期的に自家用車で送迎していますか？



(資料)三条市の公共交通に関するアンケート調査(H19年12月実施)

目指すべき方向性

公共交通不便地域

学生や高齢者など



- ・自分の足で目的地に行ける
- ・家族の送迎負担も軽減

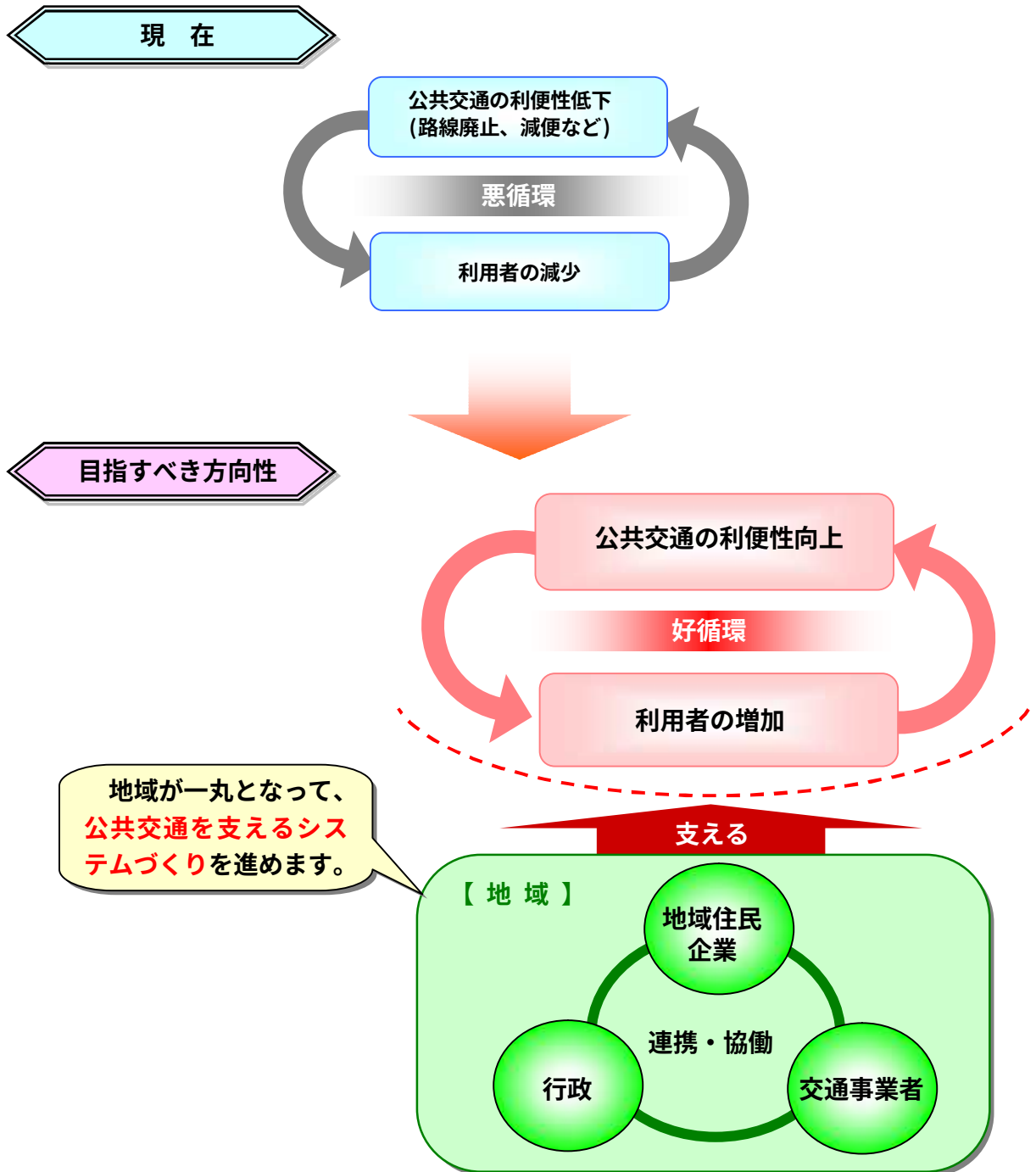


学校
病院
商業施設
など

高齢者・学生など車を運転できない人の交通を確保するとともに、利用しやすい環境を整備することで、**車を運転できない人の利便性向上**を図ります。

○まちづくりビジョン「市民とともにある都市づくり」における公共交通のあり方

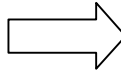
- ・地域の足となる公共交通を地域の特性やニーズに対応し維持していくためには、公共交通のあり方を行政や事業者のみならず地域住民が共に考え協働していく必要があります。
- ・このため、行政・事業者・地域住民・地元企業が相互に意見を出し合い、連携・協働しながら公共交通を地域で支えて行くことが重要です。



6.2.2 公共交通活性化の目標（計画の目標）

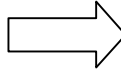
まちづくりに求められる役割から、以下の5つの公共交通活性化の目標（計画の目標）を設定します。

まちづくりビジョン「地域の風土を活かした都市づくり」

**目標 1：地域間連携の強化**

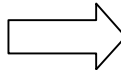
- 中心拠点地区と地域拠点地区(栄、下田)とを結ぶ公共交通網の機能強化を目指します。
- また、地域拠点地区（栄、下田）では鉄道駅とバス及びバス相互の接続の利便性向上を目指します。

まちづくりビジョン「三条の個性が光る都市づくり」

**目標 2：広域との交流促進**

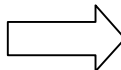
- 市域業務拠点や観光拠点と広域交流拠点（燕三条駅、三条燕 IC 周辺）との公共交通によるアクセス性向上を目指します。

まちづくりビジョン「質が高く機能的な都市づくり」

**目標 3：公共交通の魅力向上**

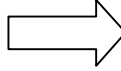
- 中心商業地において、他地区とは異なる、グレードの高い、公共交通利用の魅力の向上を目指します。

まちづくりビジョン「災害に強く住みよい都市づくり」

**目標 4：車を運転できない人に対する利便性向上**

- 学生や高齢者などが公共交通の利用を容易にするための環境整備や通学・通院目的に対する公共交通の利便性の向上を目指します。

まちづくりビジョン「市民とともにある都市づくり」

**目標 5：公共交通を支えるシステムづくり**

- 行政、交通事業者、地域住民が協働で公共交通を支えるためのシステムづくりを目指します。